



CAROL2

取付・設置説明書

もくじ



・安全上のご注意	1～2
・取付・設置前の確認	2
・ユニット構成図／取付・設置のながれ	3
・取付・設置手順	4～23
・取付・設置後の点検・清掃／ ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	23

安全上のご注意



必ずお守りください


取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。


 **警告**

トップなど金属製の製品を取扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

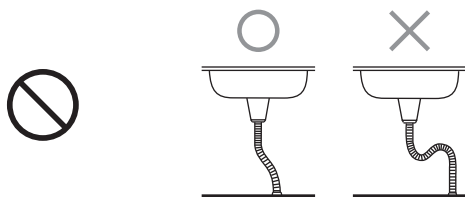
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

⚠ 注意

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



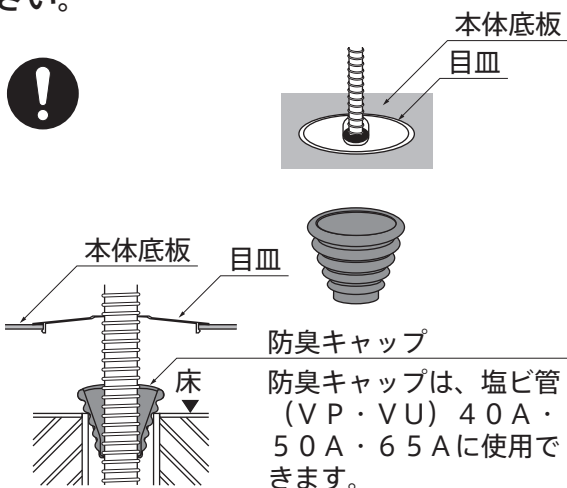
排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシーリングは、確実に行ってください。



水が漏れたり、湿気が上がり、床などが腐る恐れがあります。

取付・設置完了後は、引き出しのガタつきが無いことを確認してください。



使用中に引き出しが落下して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置前の確認

1 注文した製品が納入されているか確認してください。

2 配管、配線、補強枠の確認

- ・取付・設置図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管および各機器の電気配線、換気口などが施工されているか確認してください。
- ・床の水平レベルや強度を確認してください。

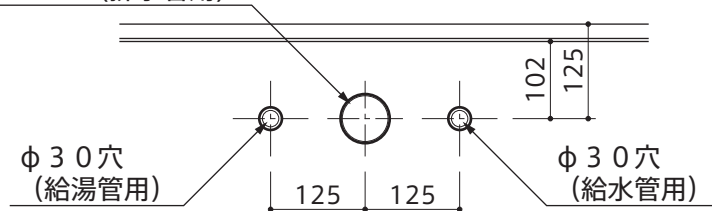
床立ち上げ時 穴あけサイズ (推奨)

40Aの場合：φ55穴

50Aの場合：φ65穴

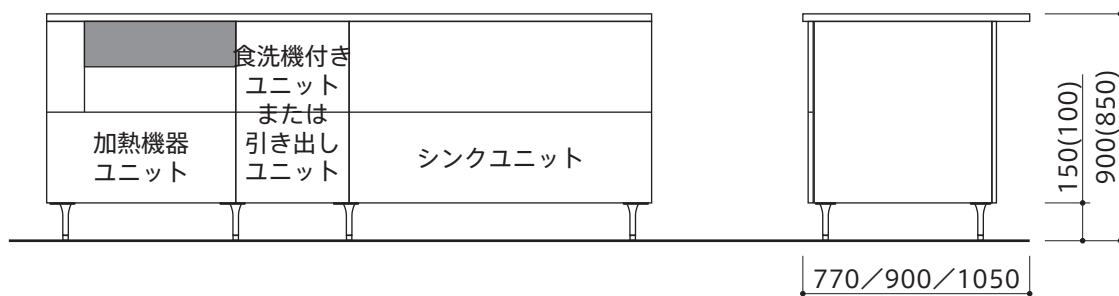
(排水管用)

φ30穴
(給湯管用)



ユニット構成図

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。



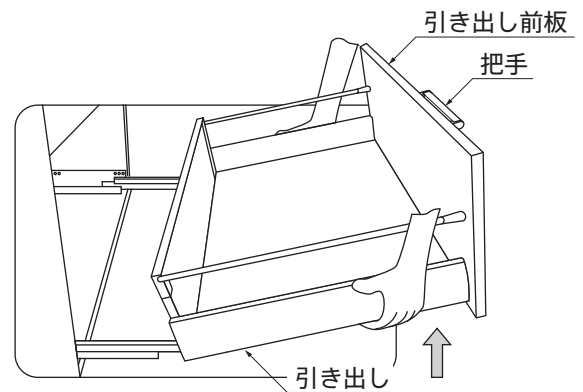
取付・設置のながれ

1. 引き出しを取り外す。
2. 配管ボックス、ステンレス配管カバー、配管隠しカバーを取付ける。
3. フロアユニットを取付ける。
アジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら取付けセットしていく。(1ユニットごとに連結していく。)
転倒防止部品を取付け、アジャスターを床に固定する。
4. フロントパネルを取付ける。
5. サイドパネルを取付ける。
6. ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。
レンジフードを取付ける場合、ダンボールなどでワークトップを養生しておきます。
7. レンジフードを取付ける場合、換気扇などの現場合合わせを行い、取付ける。
8. 食洗機を取付ける場合、設置後、配管する。
9. 水栓、排水栓を取付け後、リカバリータンクを取付ける。
10. 引き出しを取付け、引き出し前板の調整を行う。

取付・設置手順

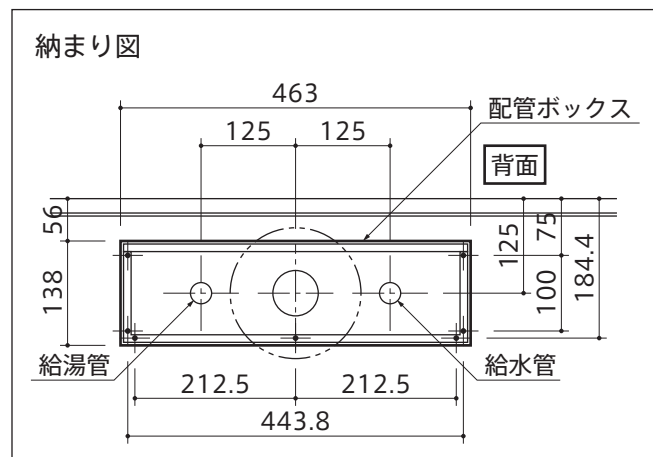
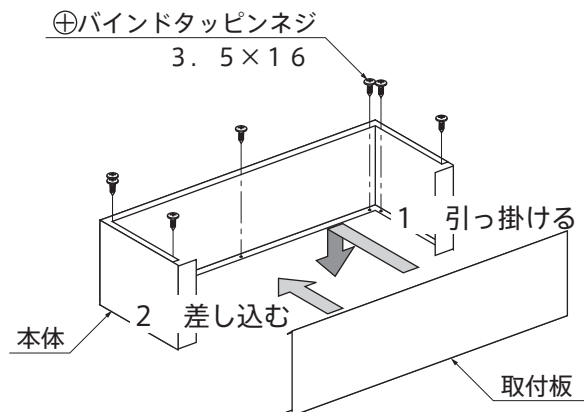
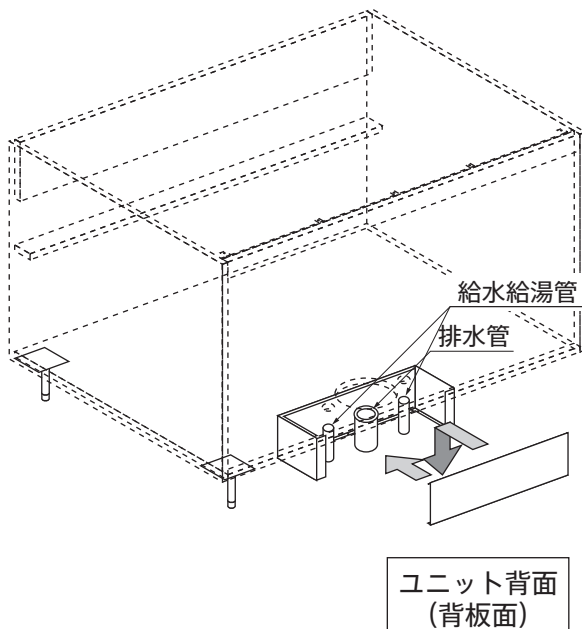
1 引き出しの取り外し

- ・引き出しをいっぱいまで引き出し、手前を持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



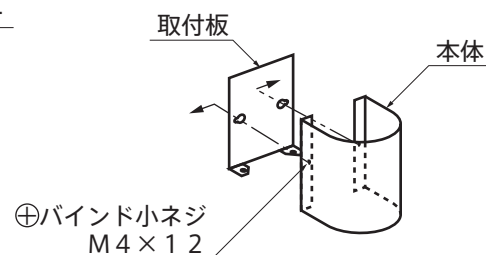
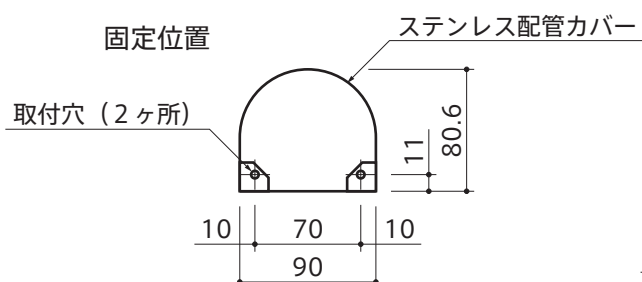
2 配管ボックスの取付け

1. 本体を給水給湯管、排水管位置に両面テープ（市販品）または、⊕バインドタッピンネジ3. 5×16（7ヶ所）にて床に固定します。
2. 取付板上部を本体に引っ掛け、取付板下部を本体と床とのすき間に差し込みます。



3 ステンレス配管カバーの取付け

1. 取付板をガス管または加熱機器用電源取り出し位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床面に固定します。
 2. 本体に⊕バインド小ネジM4×12を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1.5mm程度開けた状態にします。
 3. 本体をガス管または床コンセントなどに覆い被せます。
 4. 本体を狭めながら、⊕バインド小ネジM4×12を取付板の長穴に差し込んで固定します。
- ※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。

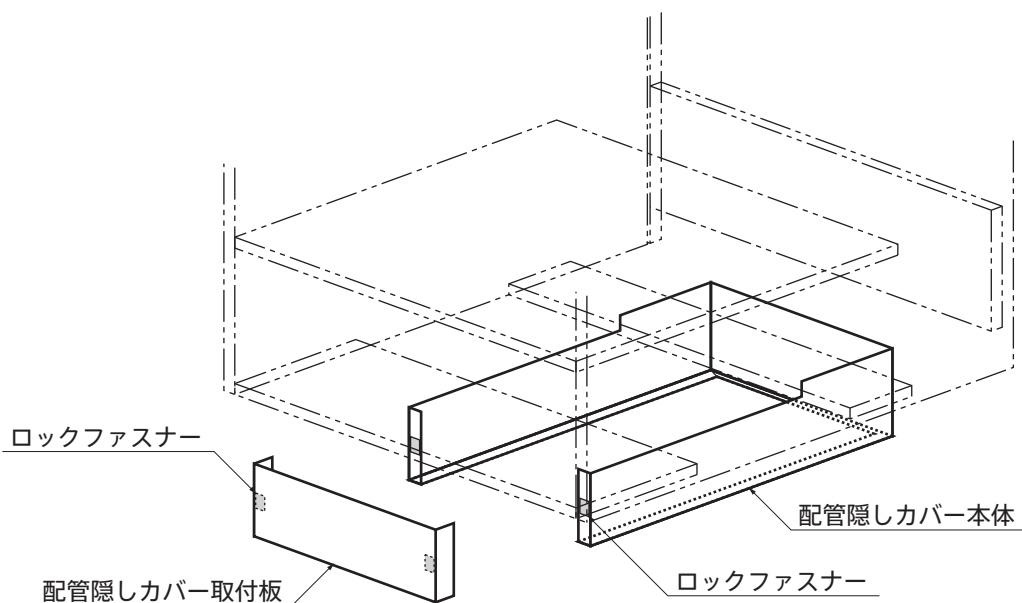
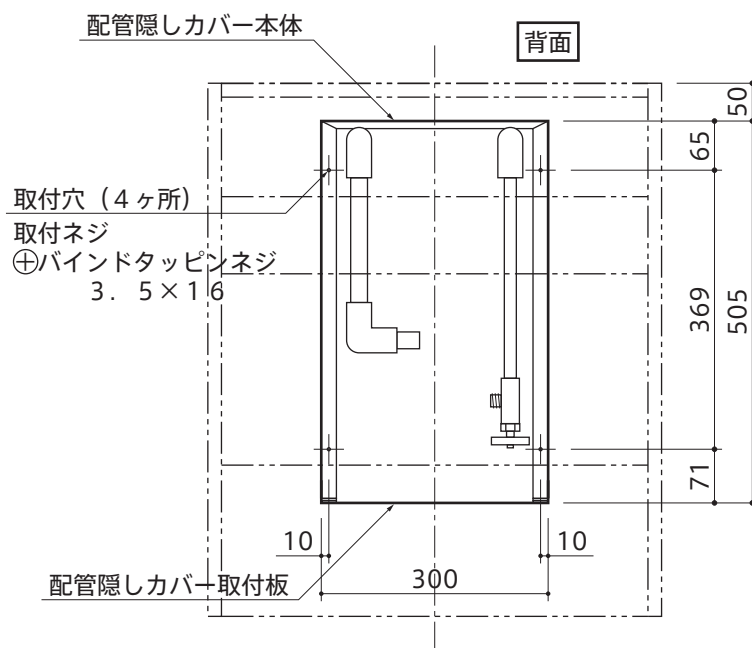


4 食洗機付きユニット用配管隠しカバーの取付け（食洗機付の場合）

※ 床立ち上げ配管専用です。

1. 配管隠しカバー本体を床の指定位置に固定します。
配管隠しカバー本体を⊕バインドタッピンネジ 3.5×16（4ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
2. 配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー（2ヶ所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図

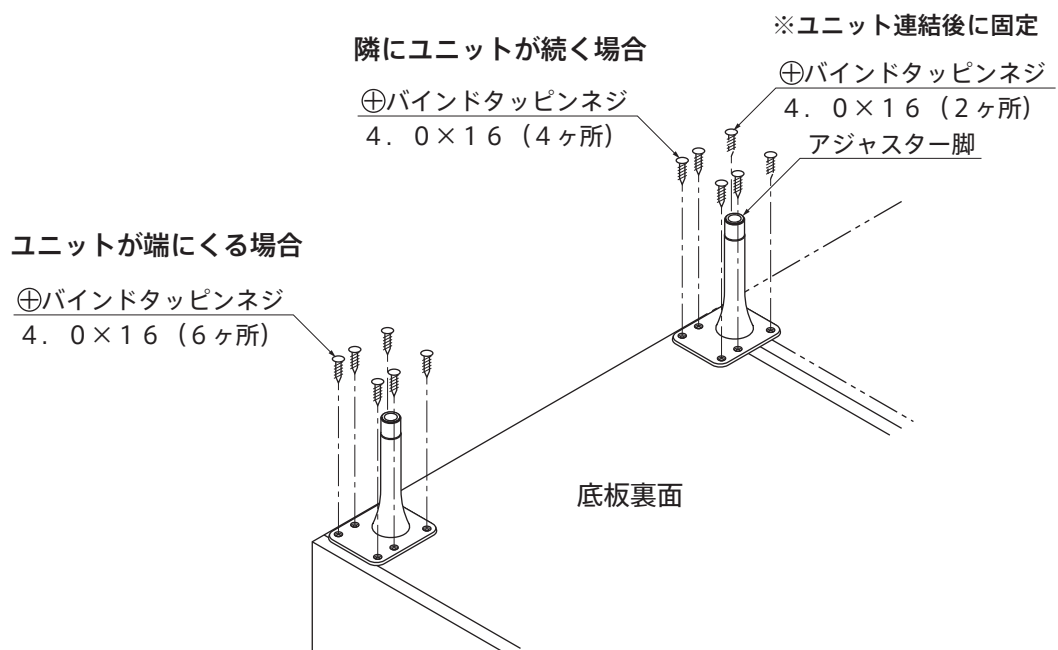


5 アジャスターの取付け

- ・ユニットを裏向けて、底板裏面にアジャスターを取付けます。
底板裏面に開いている下穴にアジャスター脚の穴を合わせ、⊕バインドタッピンネジ 4. 0×16にて固定します。
アジャスターはユニットの左側から取付けます。
- ※アジャスターの取付位置は、「アジャスター配置」を参照してください。

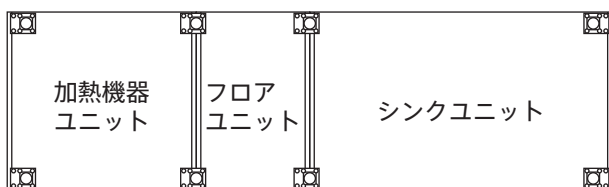
※ユニットが端にくる場合は**6本**固定します。

隣にユニットが続く場合は**4本**固定し、残りの**2本**はユニット連結後に固定します。（「アジャスターの固定」を参照）



アジャスター配置 [平面図]

食洗機無の場合

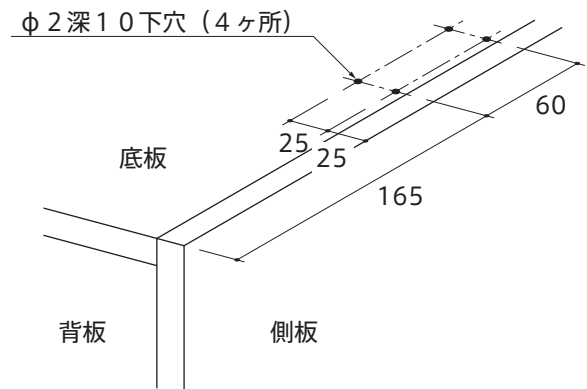


食洗機付の場合



- ・○ A部は下穴が開いていませんので、ユニットの底板に下穴を開けてからアジャスターを取付けてください。

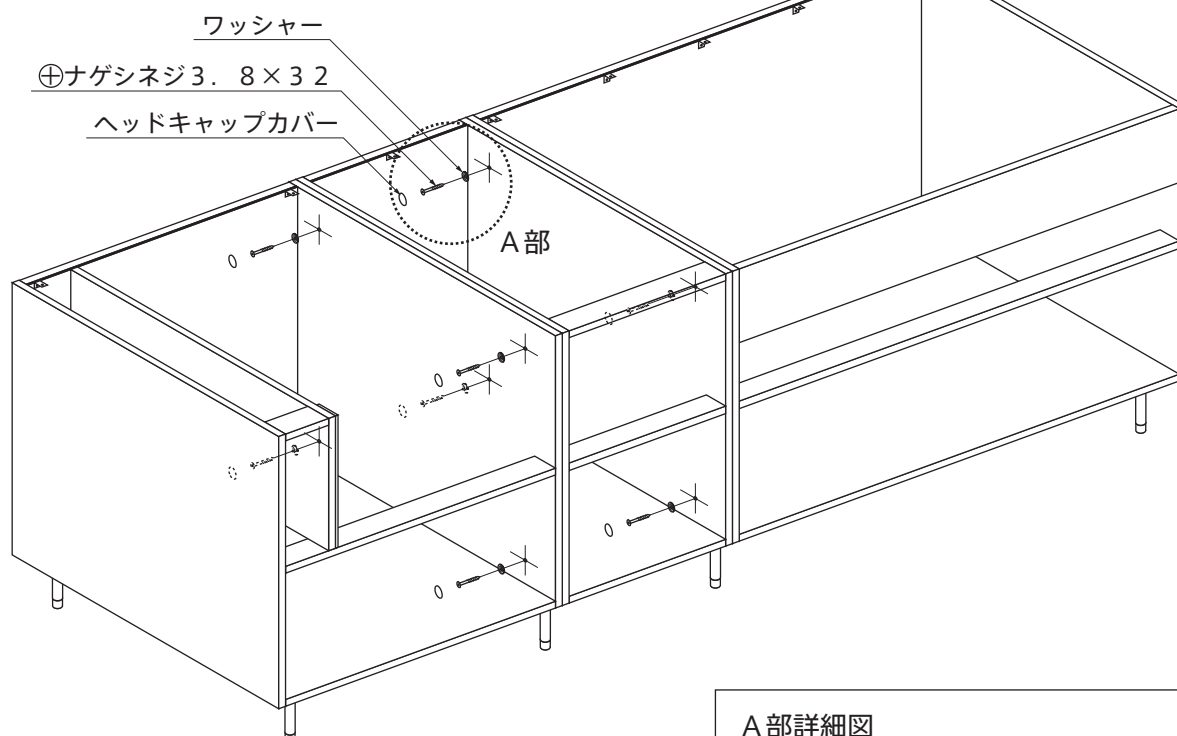
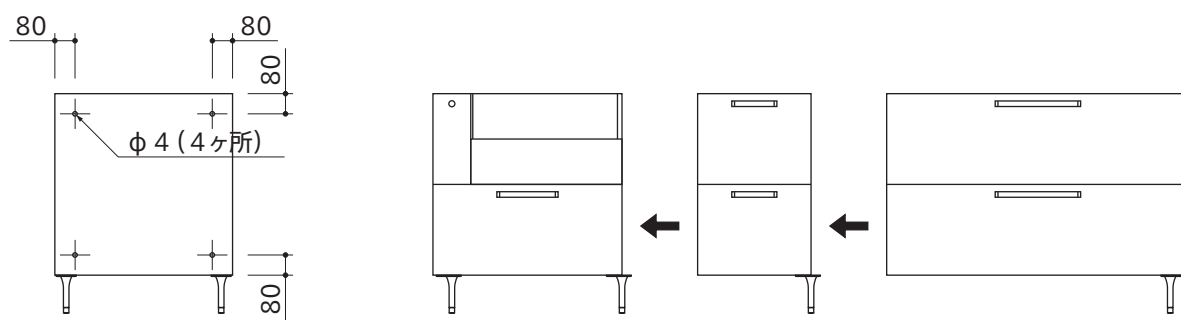
穴開け加工詳細図 (裏面より)



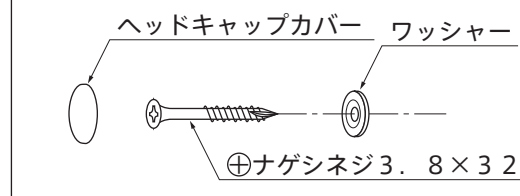
6 ユニットの連結

- ・左側から順にユニットを連結します。
- ・ユニット側板の指定位置に取付穴（φ4）を開けます。
- ・⊕ナゲシネジ 3. 8×3 2 にワッシャーを通してユニット同士を連結し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※1ユニットごとに連結します。
- ※アジャスターは、キッチン両端以外は、ユニットとユニットの間の位置になります。

ユニット連結位置 [側面図]

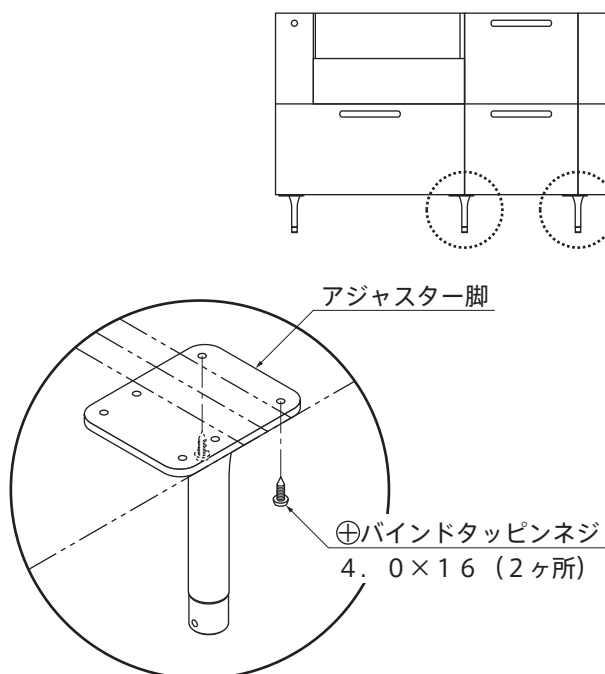


A部詳細図



7 アジャスターの固定

- ・ユニット下側から、連結箇所のアジャスター脚を固定します。
アジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にて固定します。



注意：ユニット連結後、ユニット下側からアジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）を必ずネジ固定してください。

8 転倒防止部品の取付け

1. コンクリート床、石床の場合、指定位置（「転倒防止部品取付位置」を参照）にカールPCプラグを取付けます。（図1）
床にφ6深35の下穴を開けます。
下穴にカールPCプラグ6×25（市販品）を取付けます。
2. ワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床に取付けます。（図2）
3. 転倒防止部品にアジャスター脚を差し込みます。（図3）

図1

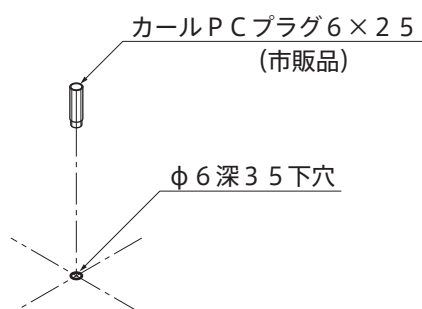


図2

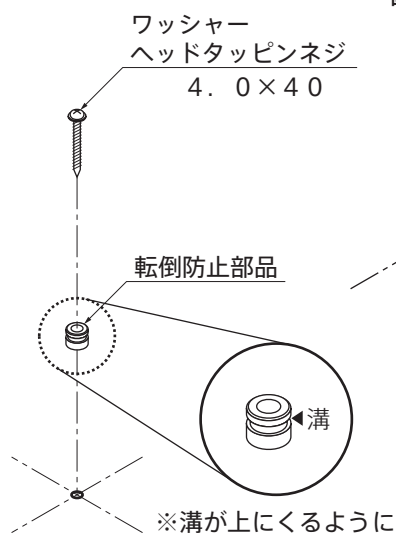
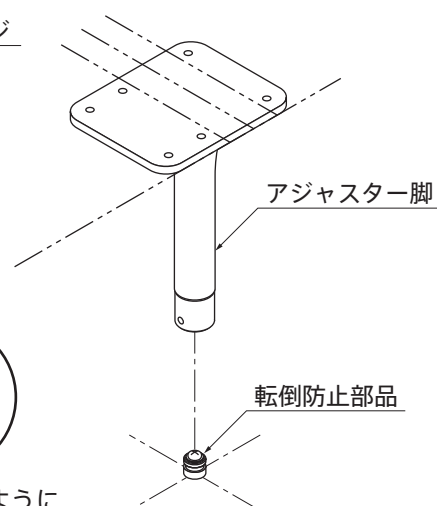


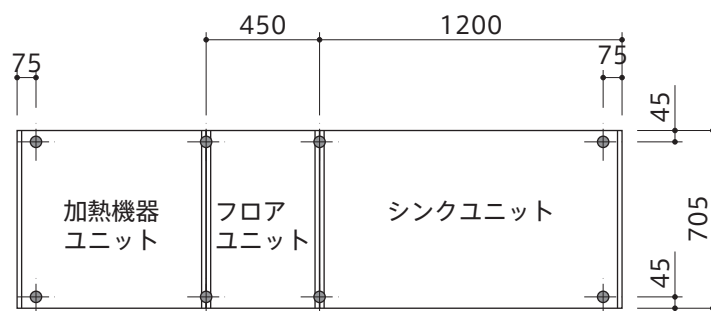
図3



取付・設置手順

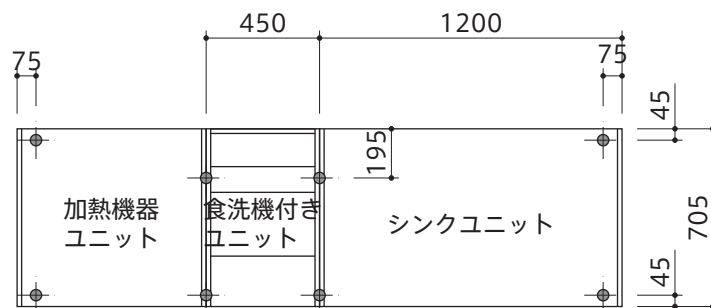
転倒防止部品取付位置 [平面図]

食洗機無の場合



前面

食洗機付の場合



前面

9 レベル調整、固定

- ・アジャスター脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。(図1)

■調整範囲 0～+10mm

※アジャスト部分の固定穴は見えないう内側へ向けて調整します。

- ・アジャスター脚の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。(図2)

図1

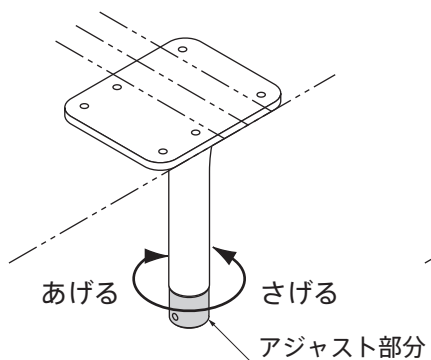
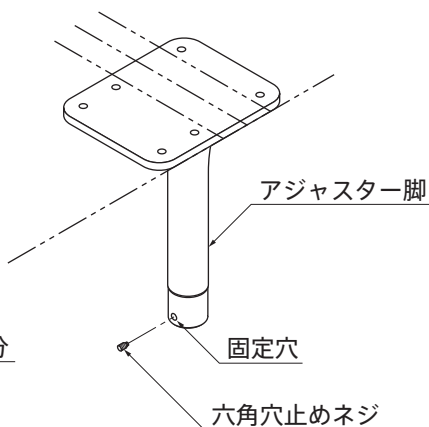


図2

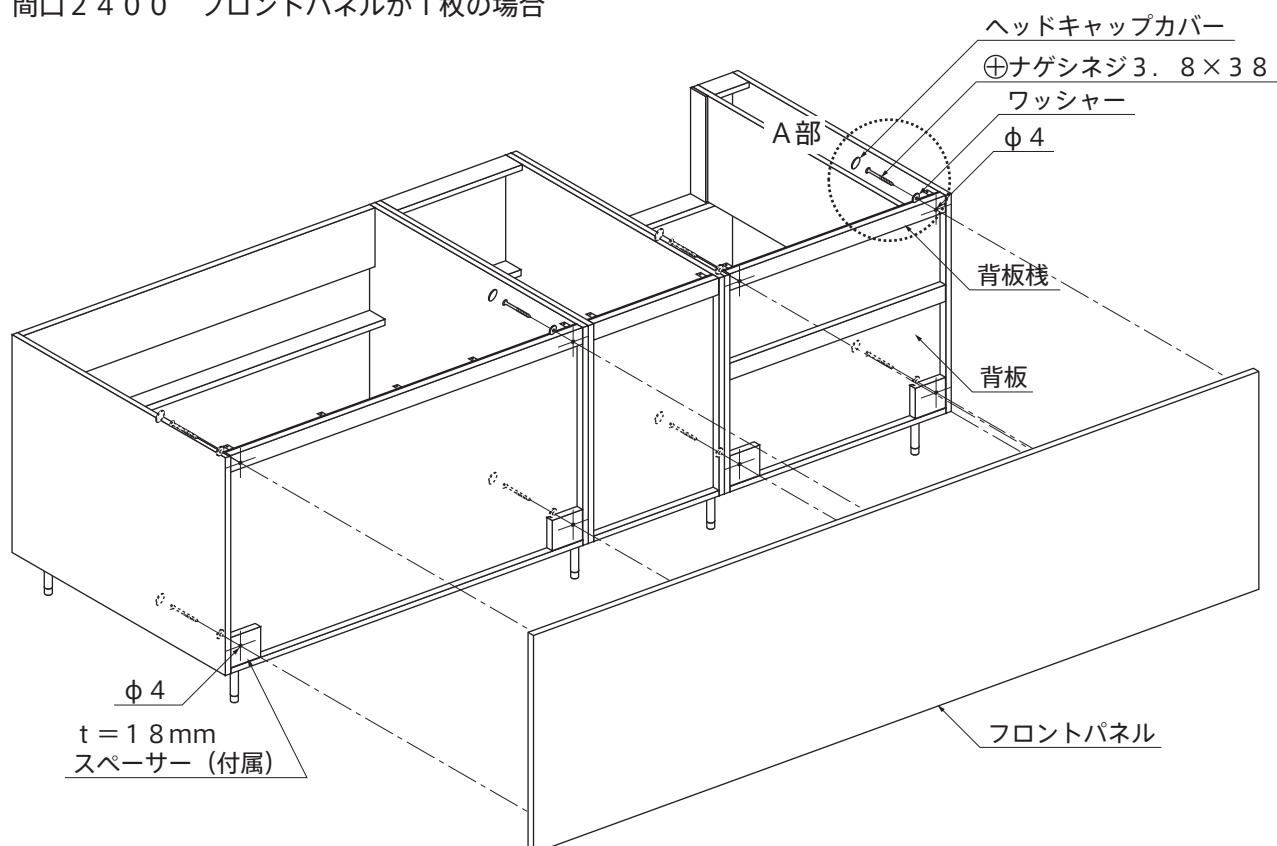


注意：アジャスター脚は必ず床に固定してください。

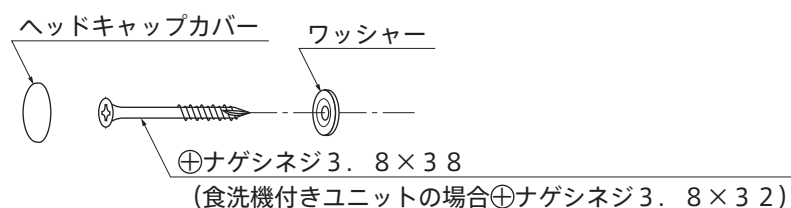
10 フロントパネルの取付け

1. ユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペース（付属）を両面テープで仮止めします。
2. ユニットの背板棧と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペース（付属）の指定位置にユニット内側の背板から取付穴（ $\phi 4$ ）を開けます。
食洗機付きユニットの場合、背板の指定位置に取付穴（ $\phi 4$ ）を開けます。
3. ユニット内側から \oplus ナゲシネジ 3.8×3.8 （食洗機付きユニットの場合 \oplus ナゲシネジ 3.8×3.2 ）にワッシャーを通してフロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

間口2400 フロントパネルが1枚の場合



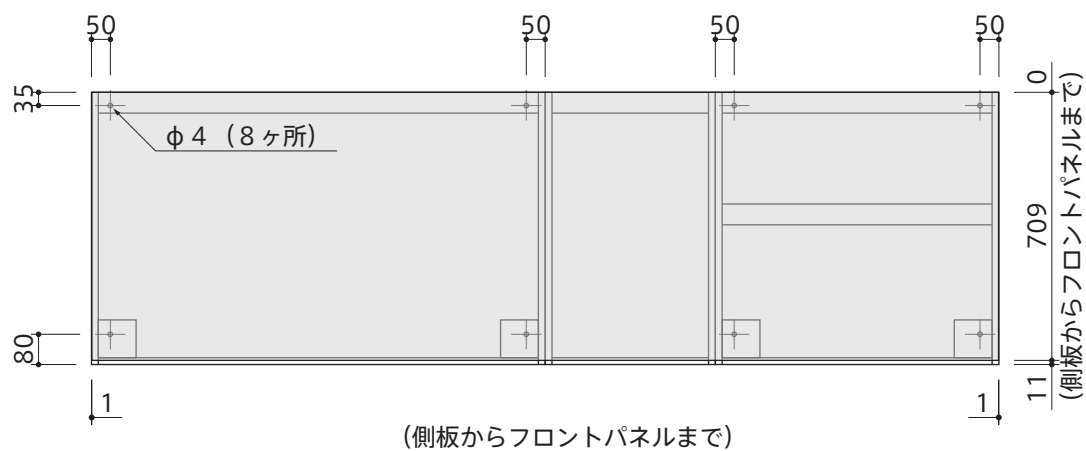
A部詳細図



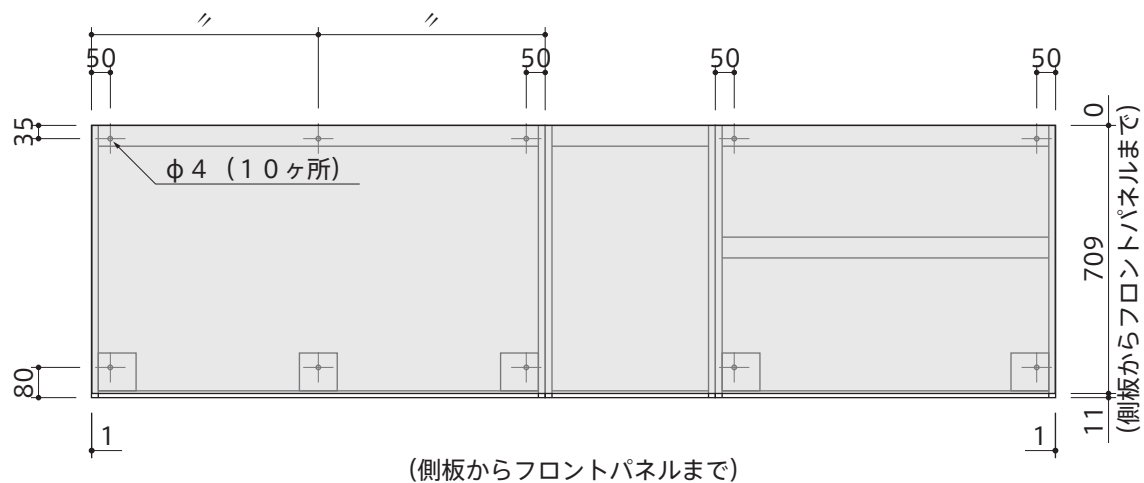
取付・設置手順

フロントパネル取付位置 [背面図]

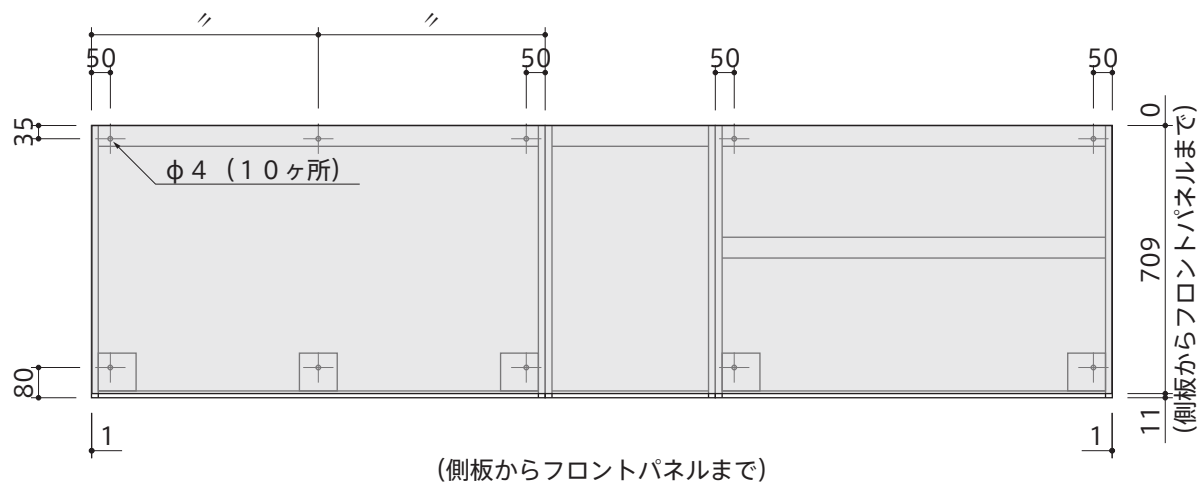
間口2400 フロントパネルが1枚の場合



間口2550 フロントパネルが1枚の場合



間口2700 フロントパネルが1枚の場合



取付・設置手順

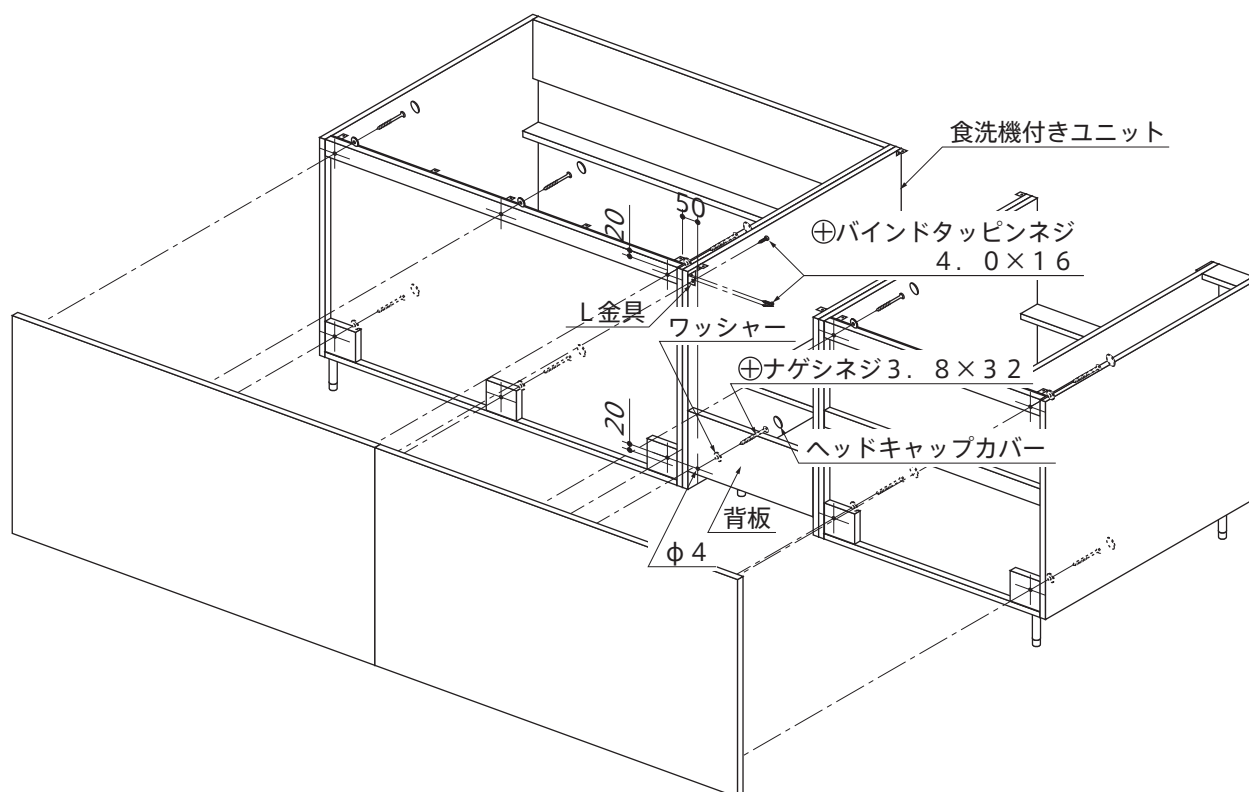
■間口2400 フロントパネルが2枚の場合

(フロントパネルの継ぎ目が食洗機付きユニットの端にくる場合)

1. 食洗機付きユニットの側板にL金具を取付けます。
食洗機付きユニットのフロントパネル継ぎ目側の側板の指定位置に⊕バインドタッピンネジ 4. 0×16にてL金具を取付けます。
2. 食洗機付きユニット背板の指定位置に取付穴(φ4)を開けます。
3. 食洗機付きユニットの側板に取付けたL金具から⊕バインドタッピンネジ 4. 0×16にてフロントパネルを固定します。
4. 食洗機付きユニット内側から⊕ナゲシネジ 3. 8×32にワッシャーを通してフロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

※ シンクユニットと加熱機器ユニットからの取付方法はフロントパネルが1枚の場合と同様です。

間口2400 フロントパネルが2枚の場合



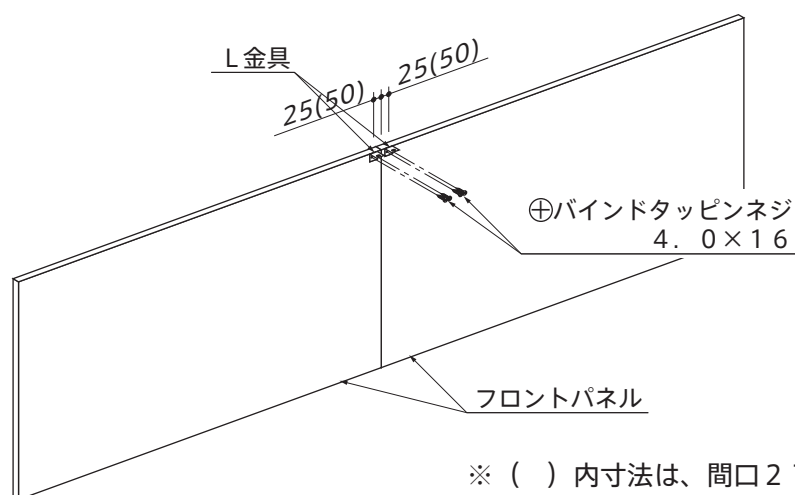
取付・設置手順

■間口2550、2700 フロントパネルが2枚の場合

(フロントパネルの継ぎ目が食洗機付きユニットの中間にくる場合)

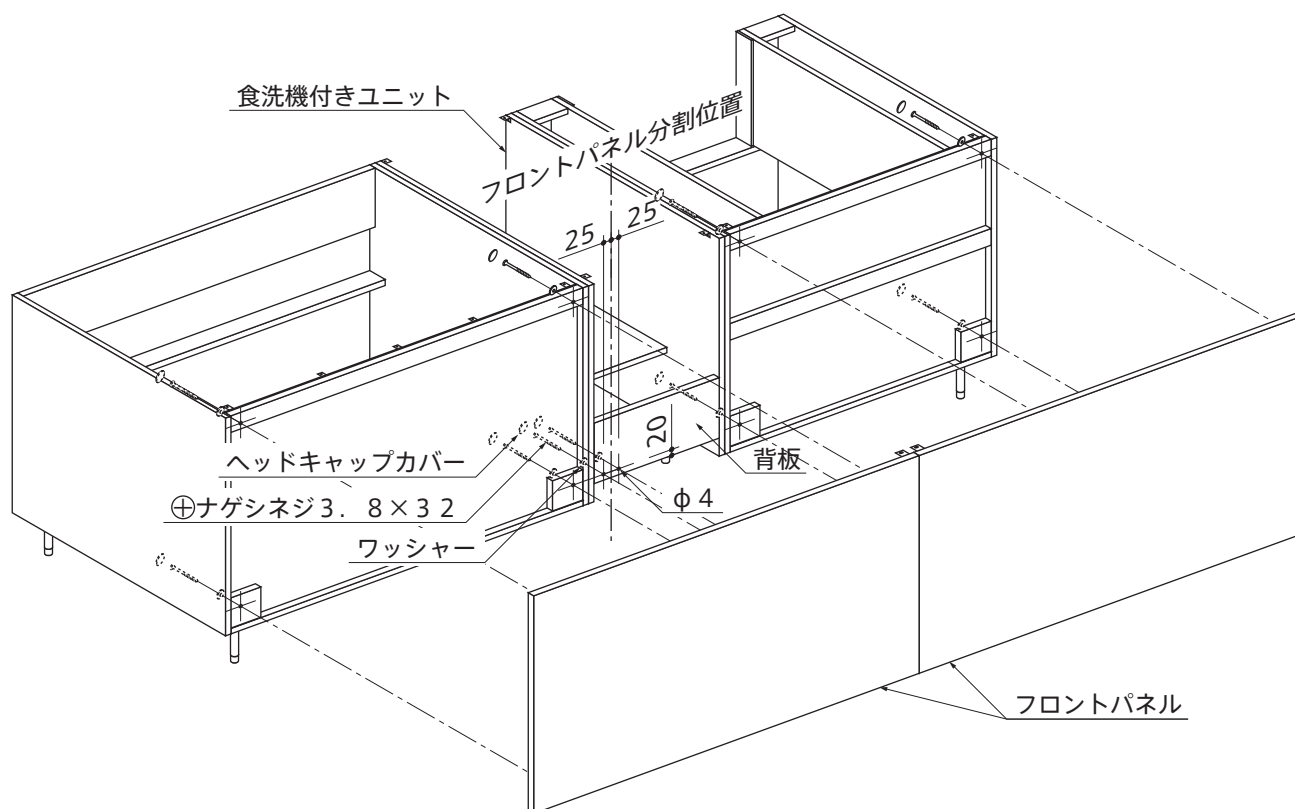
1. フロントパネルの継ぎ目側の上端にL金具を取付けます。
フロントパネルの指定位置に⊕バインドタッピンネジ 4.0×16にてL金具を取付けます。
2. 食洗機付きユニット背板の指定位置に取付穴(φ4)を開けます。
3. 食洗機付きユニット内側から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してフロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

※ シンクユニットと加熱機器ユニットからの取付方法はフロントパネルが1枚の場合と同様です。



※ () 内寸法は、間口2700の場合を示す。

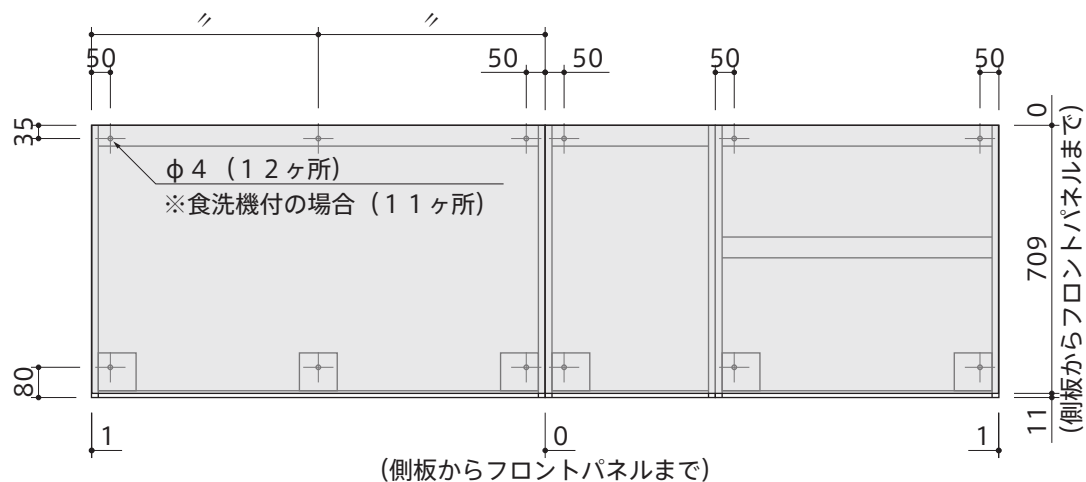
間口2550 フロントパネルが2枚の場合



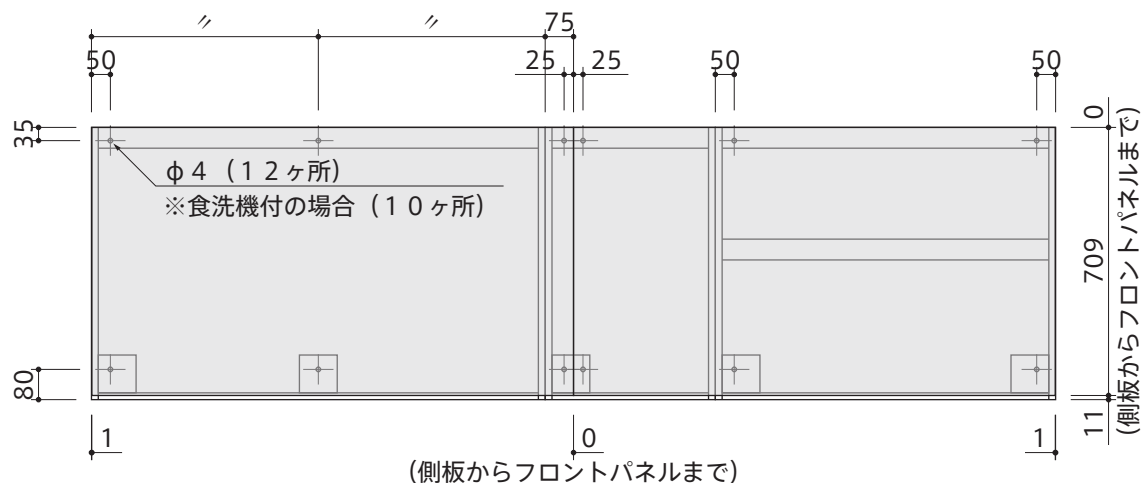
取付・設置手順

フロントパネル取付位置 [背面図]

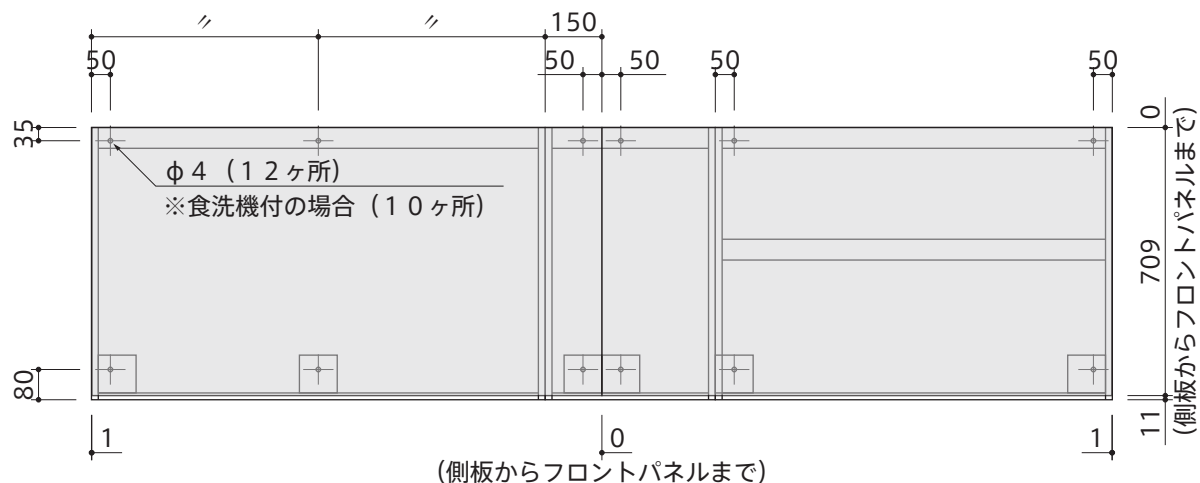
間口2400 フロントパネルが2枚（分割する）の場合



間口2550 フロントパネルが2枚（分割する）の場合



間口2700 フロントパネルが2枚（分割する）の場合



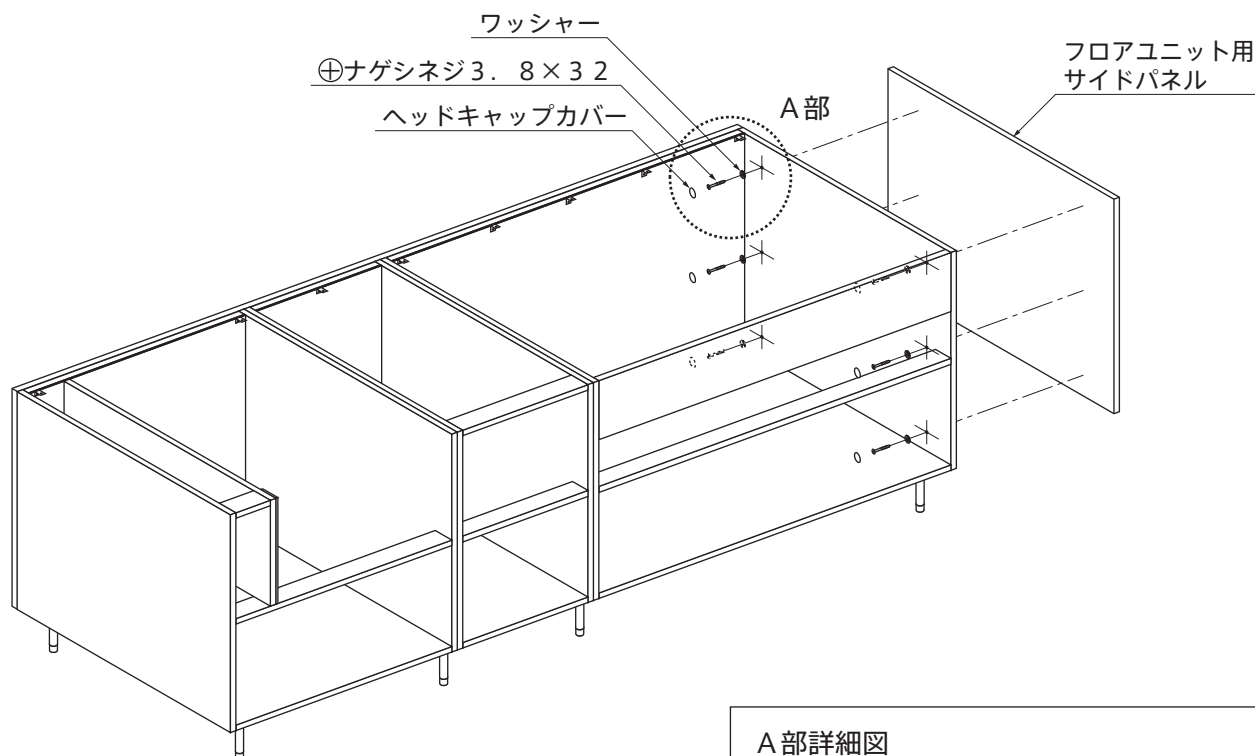
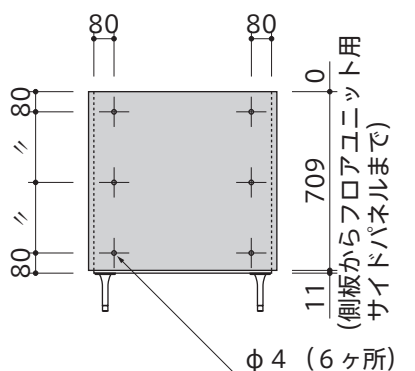
※食洗機付の場合、食洗機付きユニット部分の固定は前ページを参照のこと。

1 1 フロアユニット用サイドパネルの取付け

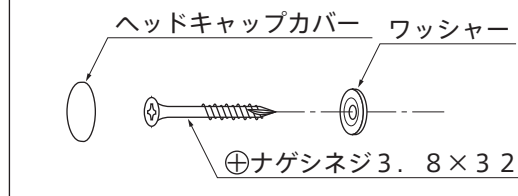
- ・ユニット側板の指定位置に取付穴（φ 4）を開けます。
ユニット内側から⊕ナゲシネジ 3. 8 × 3 2 にワッシャーを通してサイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

※ユニット扉面とフロントパネル面のチリが均等になるように取付けます。

サイドパネル取付位置 [側面図]



A 部詳細図

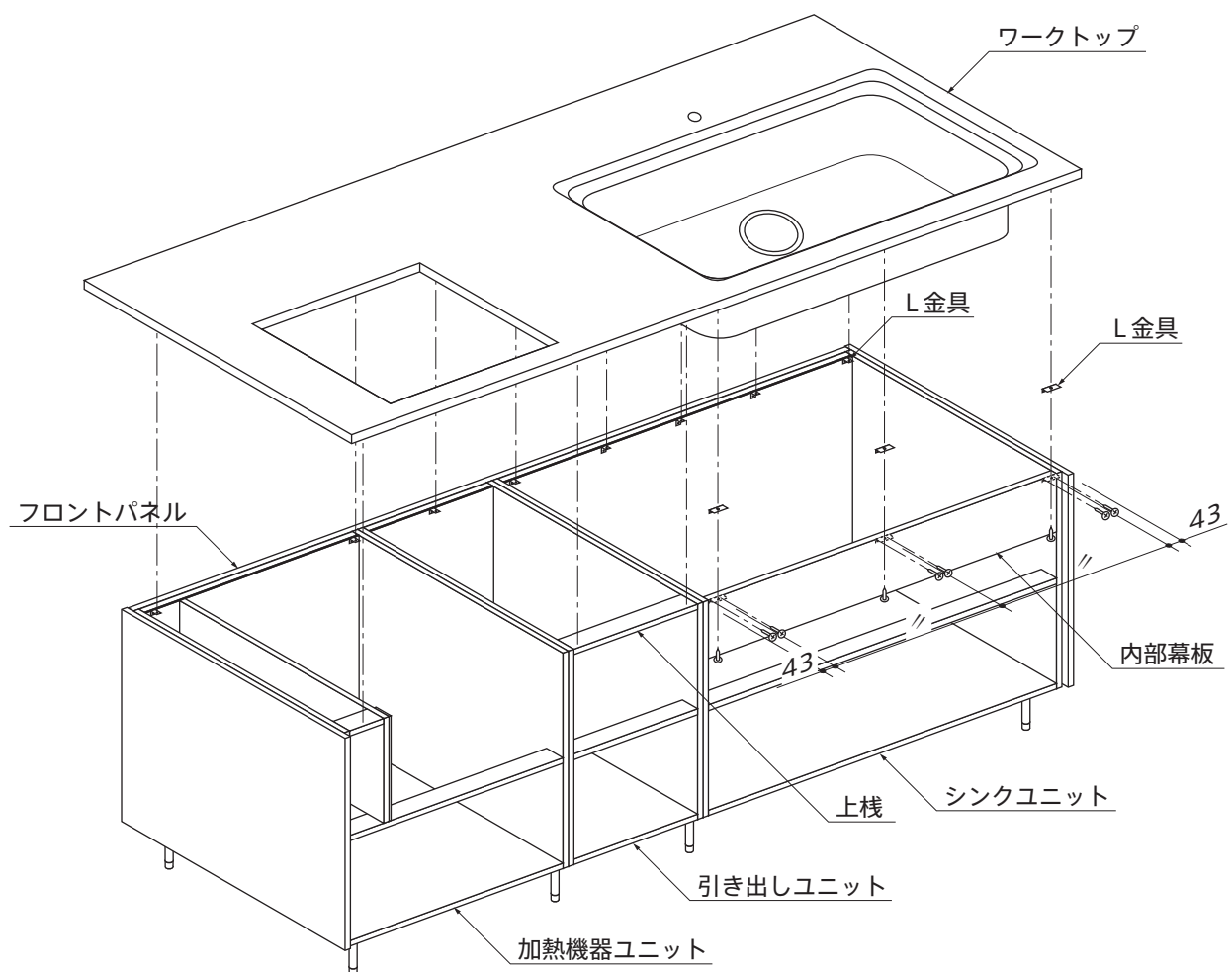


1 2 ワークトップの取付け

- ・ワークトップをユニットにのせ、ワークトップ前面からユニット前面まで45mmになるように位置を合わせます。
- ・シンクユニット前面は、ワークトップ裏面の指定位置に⊕バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付け、ワークトップをシンクユニットに押し付けながら、先ほど取付けたL金具から⊕サラタッピンネジ3.0×16にて内部幕板に固定します。

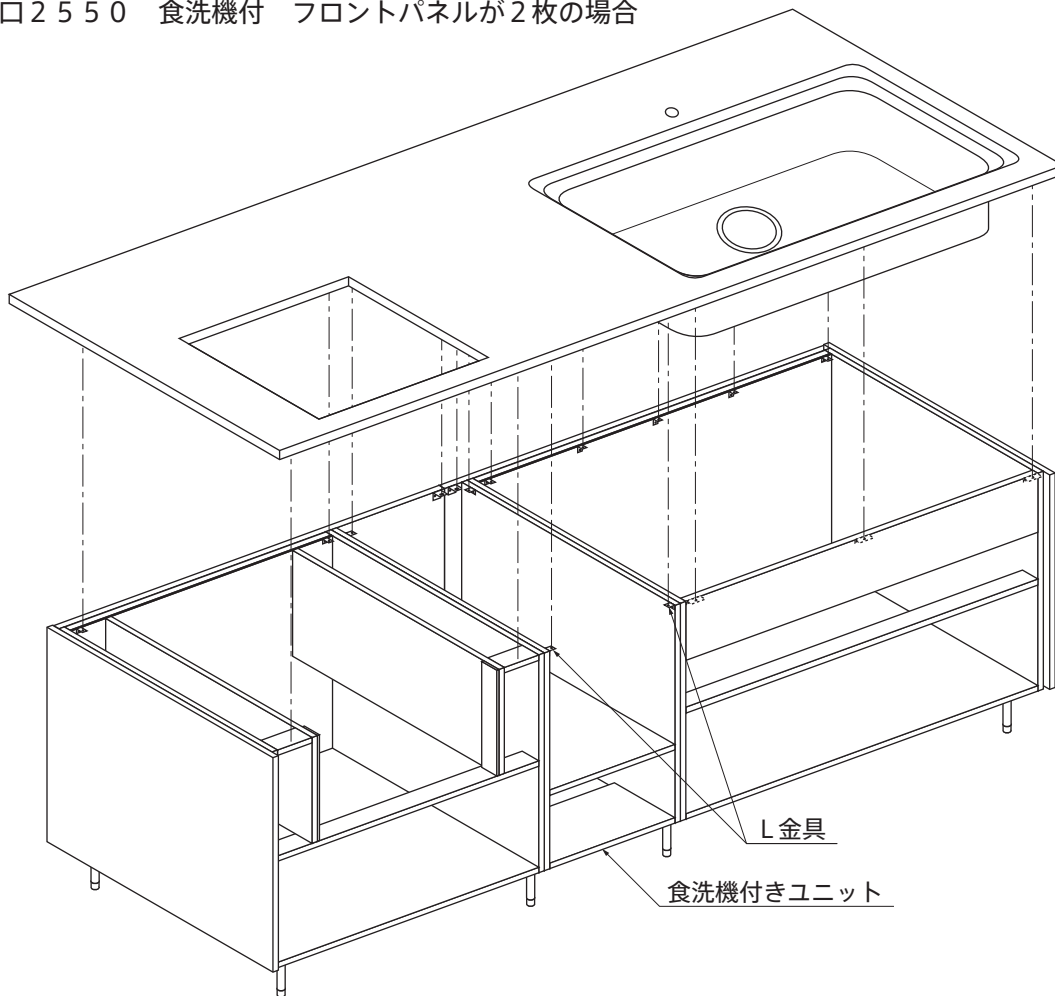
※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

- ・引き出しユニット前面は、上棧に開いているφ4穴から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・加熱機器ユニット前面は、上棧に開いているφ4穴から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通してワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定します。

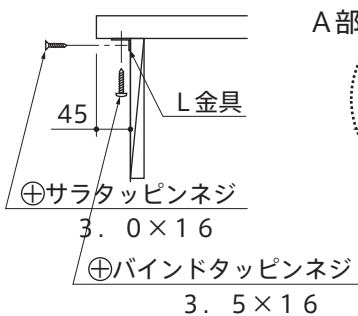


取付・設置手順

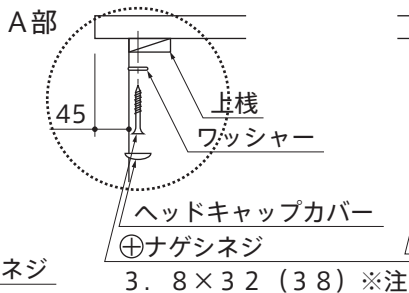
間口2550 食洗機付 フロントパネルが2枚の場合



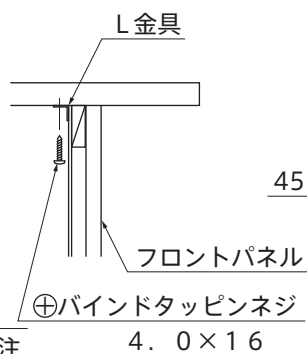
シンクユニット前面



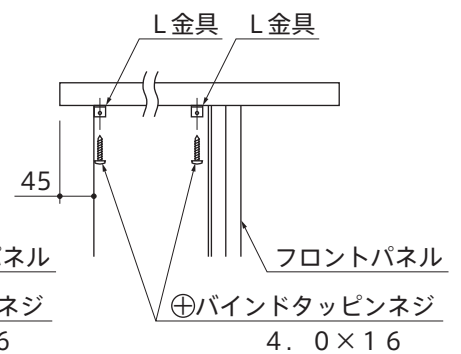
引き出しユニット/
加熱機器ユニット前面



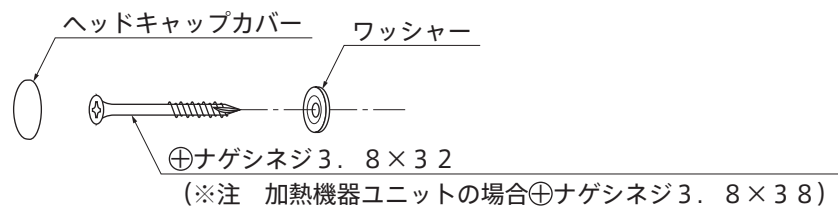
ユニット後面



食洗機ユニット前面/後面



A部詳細図



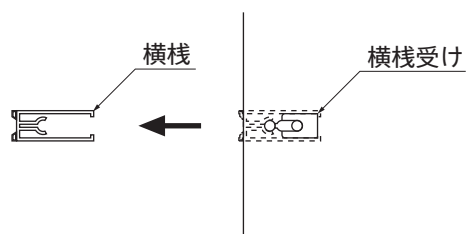
1 3 加熱機器、食洗機を取付け

- ・ 付属の「取付・設置説明書」に従って、加熱機器、食洗機を取付けます。

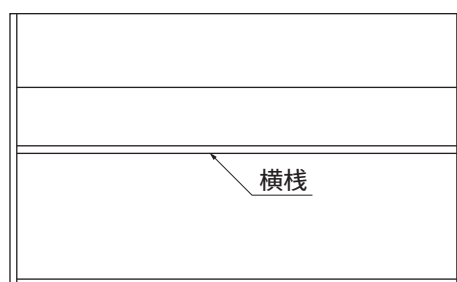
1 4 排水栓の配管

- ・ 作業しやすくするため、配管を行う前にシンクユニットの横棧受けから横棧を外してください。

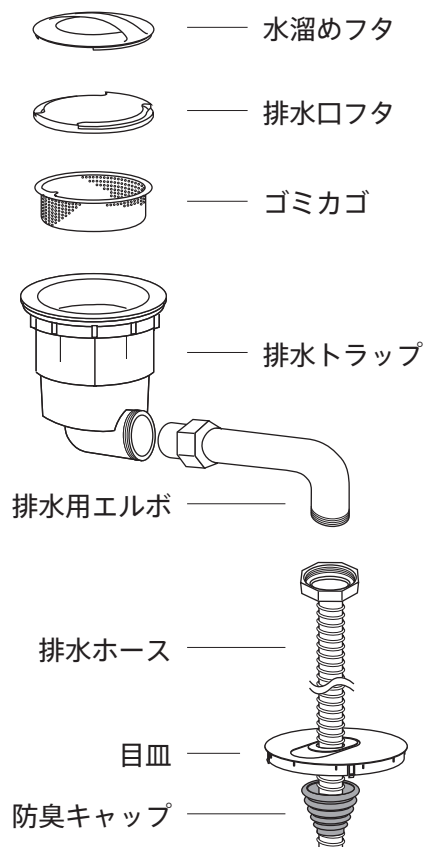
[側面断面図]



[正面図]



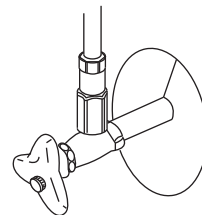
- ・ ワークトップの排水栓取付穴に排水トラップを取付け、配管を行います。



取付・設置手順

1 5 水栓の取付け

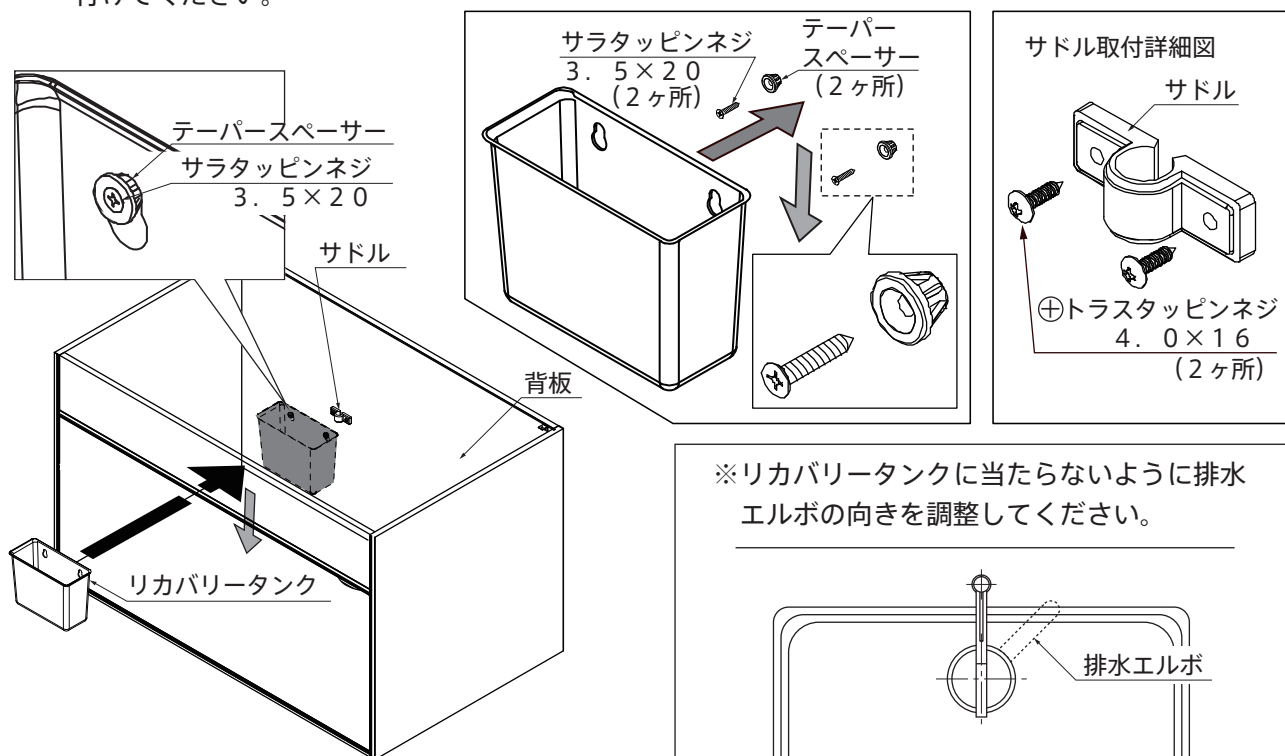
- ・シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。
- ・付属の「取付・設置説明書」に従って、水栓を取付けます。



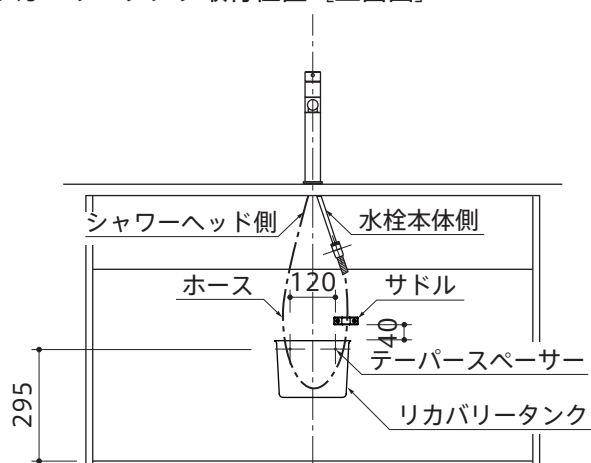
1 6 リカバリータンクの取付け

- ・水栓の下側にリカバリータンクを取付けます。
- ・テーパースペーサー 2 個をサラタッピンネジ 3. 5×20 にて背板の指定位置に取付け、テーパースペーサーがリカバリータンクの穴上部分に収まるように、穴下部分に引っ掛けてからリカバリータンクを下方に下げて固定します。
- ・サドルはホースの水栓本体側を固定します。取付位置はリカバリータンク端上部付近へ ⊕トラスタッピンネジ 4. 0×16 (2 本) で取付けます。

※サドル位置はシャワーを出し入れした際にホースがリカバリータンク内に収まるように調整して取付けてください。

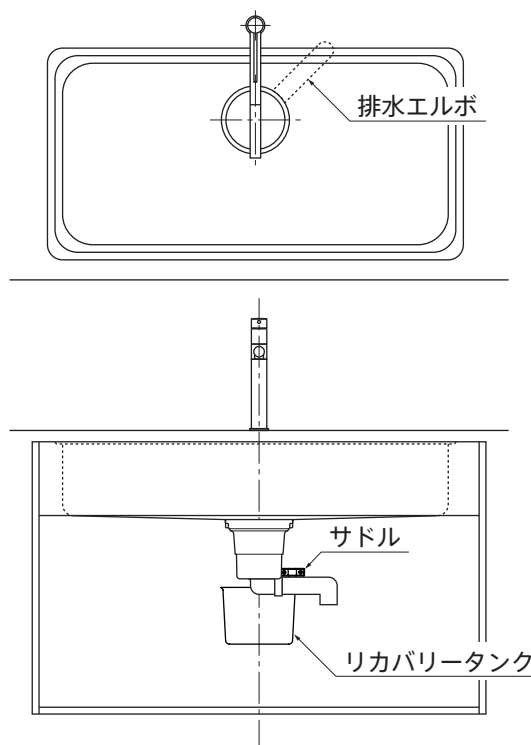


リカバリータンク取付位置 [正面図]



※ ホースのねじれが無いことを確認してください。

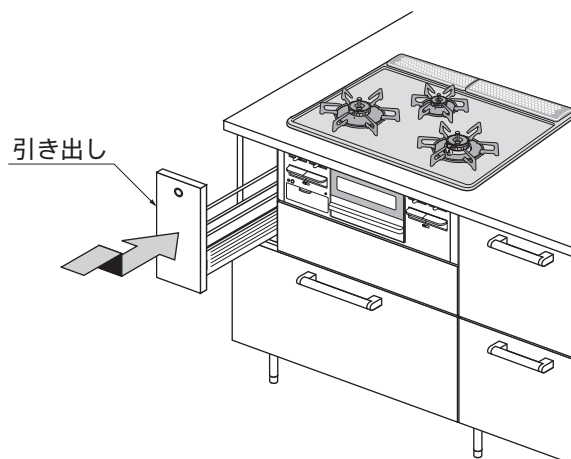
※リカバリータンクに当たらないように排水エルボの向きを調整してください。



1 7 引き出しの取付け

■間口150の場合

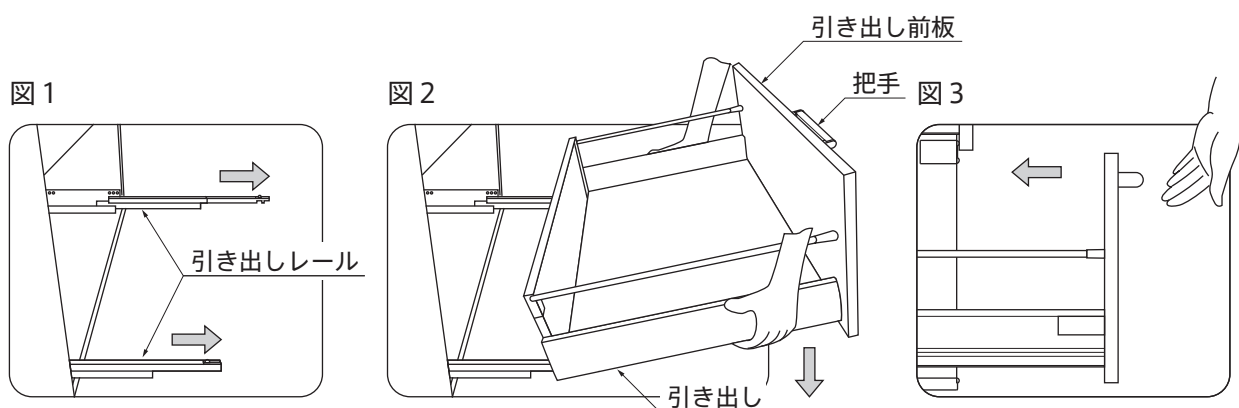
- ・引き出しを引き出しレールの上にのせ、奥へ押し込んで固定します。



■間口300以上の場合

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。(図1)
- ・引き出しレールの上に引き出しをのせます。(図2)
- ・引き出しを「パチン!」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。(図3)

※把手や引き出し前板を持たないでください。

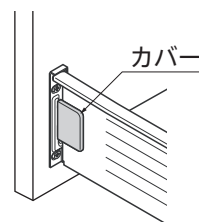


1 8 引き出し前板の調整

■間口150の場合

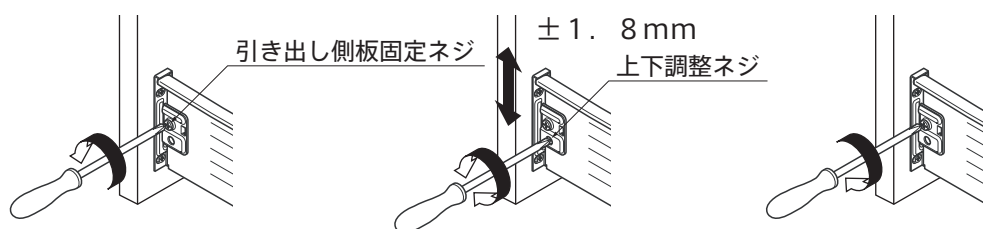
調整を行う前に・・・

- ・引き出し側板左右外側についているカバーを外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



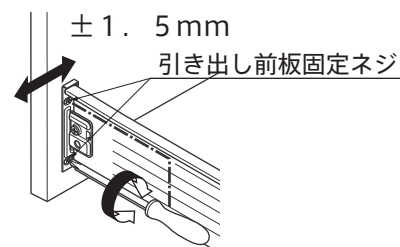
●上下方向の調整

- ・引き出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引き出し前板の上下方向を調整します。
±1.8mm調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引き出し側板固定ネジを締めてください。



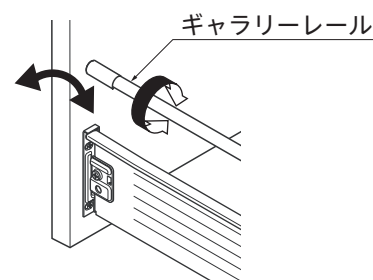
●左右方向の調整

- ・引き出し前板固定ネジをゆるめ、引き出し前板の左右方向を調整します。
±1.5mm調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引き出し前板固定ネジを締めてください。



●傾き調整

- ・ギャラリールールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。

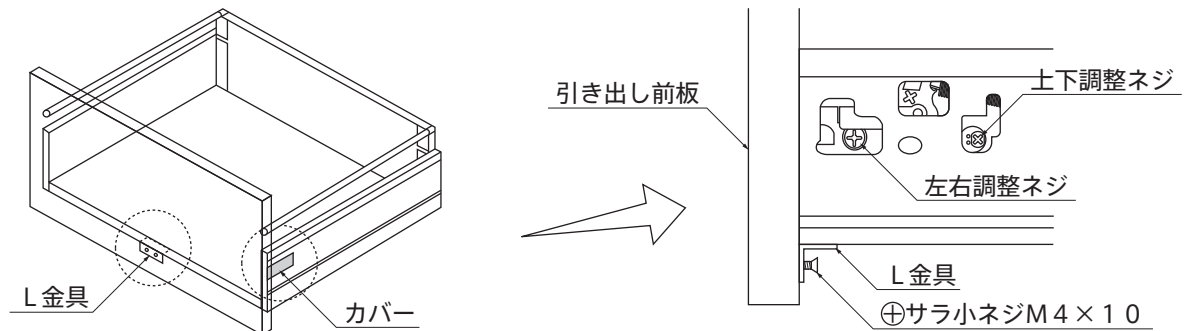


取付・設置手順

■間口300以上の場合

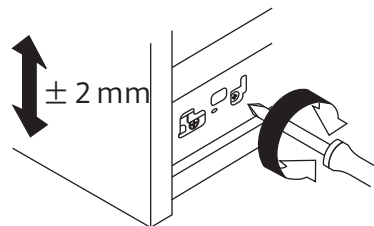
調整を行う前に・・・

- ・シンクユニットおよび加熱機器ユニット下段引き出しの場合、引き出し底板裏面についているL金具の引き出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
 - ・引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、取付ネジを締めて引き出し前板を固定し、カバーを取付けてください。



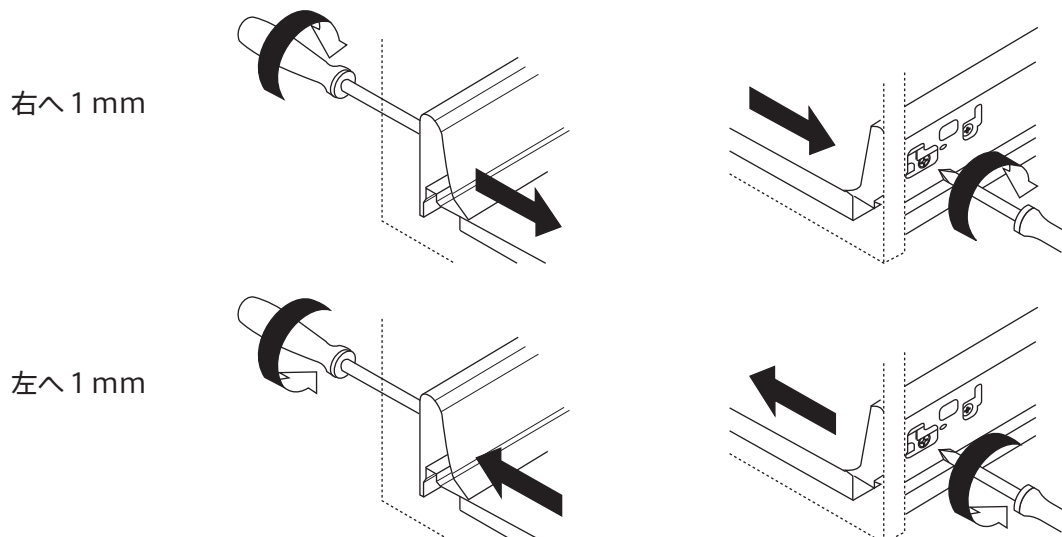
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の上下方向を調整します。
±2mm調整できます。



●左右方向の調整

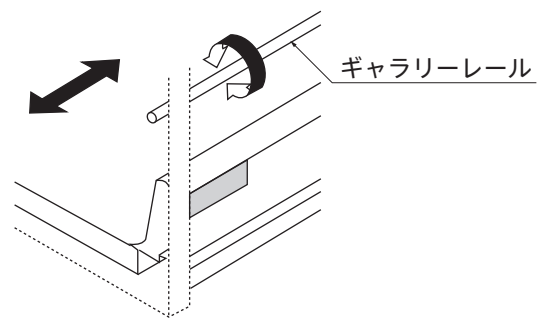
- ・左右調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の左右方向を調整します。
±1mm調整できます。



取付・設置手順

●傾き調整

- ※ギャラリーレール付き引き出しのみ調整できます。
・ギャラリーレールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。



取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、水漏れなど異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや引き出し前板など、損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材などを利用して養生してください。
- ・シンク、加熱機器など、破損の恐れのある部分は、ビニールなどで中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープなどを使用してください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） F☆☆☆☆
	M D F F☆☆☆☆
	合板 F☆☆☆☆
	接着剤 F☆☆☆☆

VOC放散性能	4 VOC 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンカスタマーサービス www.tk-maintenance.com

トヨーキッチンカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

